



設定した言語活動を通して育てたい力

○ 自分たちの夢について、積極的に伝え合うことができる。

表現力の育成

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 単元名 Lesson 9 将来の夢を紹介しよう
- ◇ 本時の目標 自分たちの夢について積極的に尋ねたり答えたりする。
- ◇ 単元の展開 (2時間目/全4時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)											
1 本時のめあてを知る。 自分たちの将来の夢について、積極的に尋ねたり、答えたりしよう。		<p>本時のメイン活動で児童が表現する内容を予想して、児童に慣れ親しませる語彙・表現等を指導しましょう。</p> <p>★ピクチャーカードやカルタでは、英語ノートに示されている職業だけではなく本学級の児童が将来就きたい職業を扱います。これらを繰り返し聞く活動、言う活動を行うことによって、本時のメイン活動である「6の学習活動」において、自分の就きたい職業について話すことと、相手の就きたい職業について聞いて理解することが簡単にできるようにになります。</p>											
2 前時の復習をする。 ○ 職業名 What's this? をする。	<p>◇職業名ピクチャーカードを用いて、その一部を少しずつ見せたり、一瞬だけ見せたりするなどして、職業名を答えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T: What's this? S: Doctor.</p> </div> <p>◇ピクチャーカードの職業名は、本学級の児童が事前のアンケートで将来就きたいと回答したものであることを伝え、意欲を高める。</p> <p>◇職業名カルタをグループに配り、教師や児童が職業名を言い、カルタ取りゲームを行わせる。</p>												
3 カルタ取りゲームをする。		<p>活動では、児童にとって身近な題材を取り上げましょう。</p> <p>★先生や友達、日本やアメリカの同世代の子どもなど、児童にとって身近な人やもの、興味・関心のあることを取り上げることによって、積極的に尋ねたり、答えたりすることができるようになります。</p>											
4 Who am I?クイズをする。	<p>◇本校の先生の小学校6年生の時の「将来の夢」を順に聞かせ、誰の夢かを考えて答えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>S: What do you want to be? T: I want to be a singer. I like music. I like songs. I want to be a singer. Who am I? S: Tanaka sensei. 理由は、田中先生はいつも、「私は歌が好き」と言っているからです。</p> </div> <p>◇ピクチャーカードを示し、尋ねる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">Japan</th> <th style="width: 50%;">America</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 professional sports player (プロスポーツ選手)</td> <td>1 teacher (教師)</td> </tr> <tr> <td>2 pastry chef (パティシエ)</td> <td>2 doctor (医師)</td> </tr> <tr> <td>3 nursery school teacher (保育士)</td> <td>3 lawyer (弁護士)</td> </tr> <tr> <td>4 fashion designer (ファッションデザイナー)</td> <td>4 professional sports player (プロスポーツ選手)</td> </tr> <tr> <td>5 pharmacist (薬剤師)</td> <td>5 scientist (科学者)</td> </tr> </tbody> </table> <p>日本 (HP: 「13歳のハローワーク」 H23年12月) アメリカ (HP: CNN “Teen dreams: Top 10 career choices” H17年5月)</p> <p>◇活動前に、インタビューシートに書かれている職業の中から、ベスト5を予想し記入しておく。</p> <p>◇どんな職業に就きたいかを尋ね、相手の就きたい職業を聞き取って、シートに記入するよう指示する。</p> <p>◇クラスの状況が分かるようにできるだけ全員からインタビューするように指示する。</p> <p>◆やりとりの仕方に困った児童に対応できるようヘルプコーナーを設ける。</p>		Japan	America	1 professional sports player (プロスポーツ選手)	1 teacher (教師)	2 pastry chef (パティシエ)	2 doctor (医師)	3 nursery school teacher (保育士)	3 lawyer (弁護士)	4 fashion designer (ファッションデザイナー)	4 professional sports player (プロスポーツ選手)	5 pharmacist (薬剤師)
Japan	America												
1 professional sports player (プロスポーツ選手)	1 teacher (教師)												
2 pastry chef (パティシエ)	2 doctor (医師)												
3 nursery school teacher (保育士)	3 lawyer (弁護士)												
4 fashion designer (ファッションデザイナー)	4 professional sports player (プロスポーツ選手)												
5 pharmacist (薬剤師)	5 scientist (科学者)												
5 ①日本の13歳の子ども、②アメリカの10代の子どもの人気のある職業ベスト5を予想して答える。  (表側)  (裏側)													
6 自分のクラスで人気のある職業ベスト5を予想したあとで、インタビュー活動をする。		<p>・自分たちの夢について積極的に尋ねたり答えたりしている。〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕(行動観察、振り返りカード点検)</p>											
7 本時の活動を振り返る。	<p>◇振り返りカードに記述させる。</p> <p>◇本時のめあてについてどうであったか、自分のことと友達のことについて振り返らせる。</p> <p>◇次時の意欲につながるように児童の頑張っていた姿を評価する。</p>												

